

報道機関各位

株式会社 デコス



平成25年度
「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの標準化に係る調査・実証事業」
慶應義塾大学チームへ参加、エネマネハウスでCFP-OFFSETを実施！

株式会社デコス(代表取締役:安成信次、本社:山口県下関市 以下、デコス)は、慶應義塾大学SFC研究所が採択された平成25年度「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(Net Zero Energy House、以下ZEH)の標準化に係る調査・実証事業」に参加しています。

この実証事業は、経済産業省資源エネルギー庁により、先端的な技術を取り込んだZEHの実証および展示を目的としています。慶應義塾大学チームでは、CLT(クロスラミネーテッドティンバー・国産杉直交集成板)パネル工法のモデルハウス(エネマネハウス)を設計・建築。先端的な省エネ技術を搭載し、評価を行います。



CLT

なお、デコスは断熱パネルにて、CLTへ外断熱施工を行います。

また、併せてデコスは、経済産業省「カーボンフットプリント(CFP)を活用したカーボン・オフセット製品等」試行事業に基づき、本エネマネハウスに使用するデコスファイバーのCFP合計値全量を、株式会社トライ・ウッド(大分県)の森林

吸収系J-VERクレジットにてカーボン・オフセットすることで、「実質排出ゼロ・カーボン断熱材」としました。

これにより、建築分野における省CO2排出の意識向上と、「実質排出ゼロ・カーボン断熱材」を活かした木造建築をPRすることにより低炭素社会へさらなる貢献を目指します。

●平成25年度「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの標準化に係る調査・実証事業」

<http://www.zero-ene.jp/zeh/house/>

本事業は、経済産業省資源エネルギー庁の行う「平成25年度住宅・ビルの革新的省エネ技術導入促進事業」の一環として、ZEHに係る先進的な技術をいち早く市場に展開すべく、関連する技術開発や実証を推進しようとしている大学や民間事業者等の取組について幅広く提案を募り、先端的な技術を取り込んだZEHの実証および展示を目的とします。これにより、以下を目指します。

1. 省エネ技術に長けた人材の育成・獲得
2. ZEHプラットフォームを用いた世の中への発信
3. ZEHに不可欠な産学連携の実践の場の提供
4. 海外展開を視野に入れた省エネ技術のパッケージ化による産業競争力の強化

●エネマネハウス2014 <http://www.low-cf.jp/enemane.html>

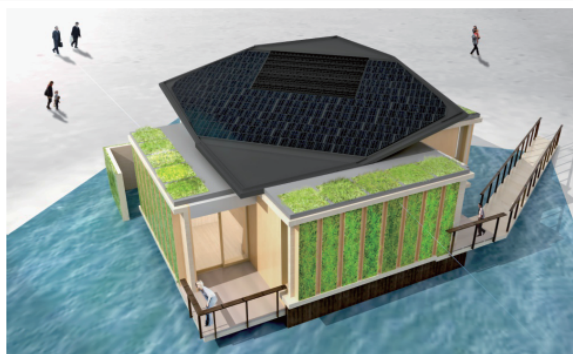
今回採択された5大学(慶應義塾大学・芝浦工業大学・千葉大学・東京大学・早稲田大学)が申請内容に基づき、東京ビッグサイトの東雲(しののめ)臨時駐車場へエネマネハウスを建築し、実証展示、評価を競い合います。展示期間は、平成26年1月29日(水)～31(金)。

●経済産業省「カーボンフットプリント(CFP)を活用したカーボン・オフセット製品等」試行事業

<http://www.cfp-offset.jp/>

本事業は、製品等のライフサイクルにおける温室効果ガス排出量(CFP)を算定した事業者が、別途取得した同量のクレジットにより埋め合わせ(カーボン・オフセット)を行ったことを事務局が認証し、製品に認証マークを添付する事業です。

事業名	慶應型共進化住宅 Keio Co-Evolving House	代表団体	慶應義塾大学
		プロジェクトリーダー	池田 靖史



○環境負荷の低減、健康維持・増進、快適で安全な社会生活の実現という3つの課題の高い次元での達成

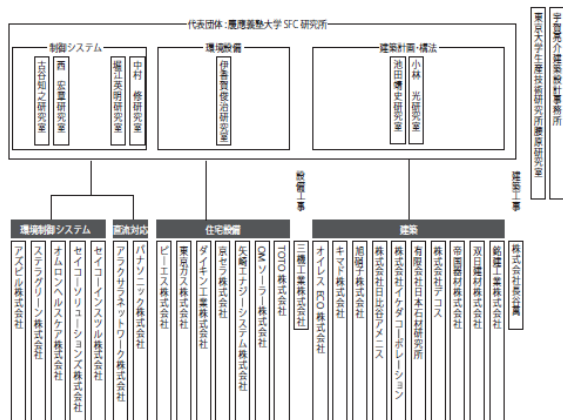
- ・環境負荷の低減
住宅の寿命全体でのCO₂収支をマイナスにする
- ・健康維持・増進
自然素材の建材を使用し、居住空間内で体感される熱環境や視覚的效果などの点から人間の健康を維持・増進
- ・快適で安全な社会生活の実現
パッシブな自然エネルギー利用を重視した自立可能で災害耐力のあるシステムを採用し、暮らしの快適性・安全性を守る

○人々と都市環境をインタラクティブに繋ぐ“共進化”住宅

- ・集合・連携することにより自ら良好な都市環境を創造する
可能な限り緑化された壁面は都市の温熱環境の改善に貢献するだけでなく、隣接する空間に対しても環境を向上させる
- ・ライフスタイルに呼応する環境づくり
センシング技術を環境制御システムに組み合わせることで使い手の生活スタイルを学習・反映する、実感のあるエコライフを提供
- ・住まい手とともに進化する
新しい構法を導入することで様々なライフスタイルにプランを対応させることが可能になり、使い手とともに進化する住宅となる

○地球的な課題である環境問題の解決におけるアジア地域への貢献

- ・アジアの環境都市開発を意識した革新的モデルの提示
高密度都市、水辺環境、インフラ未整備地域などの都市環境開発への提案として水辺利用が可能な水上住居の技術を開発する
- ・季節差の大きなアジア諸国への気候に配慮
多様な地域差に対するオープンで自立性の高い環境制御システム
- ・高度情報技術の住宅分野への応用技術を創出する産学連携組織の構築
国内だけでなくアジアにおける生活環境の改善の方策を追求し、結果として日本の環境技術産業の市場開拓にも繋がることを目指す。



DEVELOPMENT COORDINATION SYSTEM
株式会社 デコス

●会社概要 <http://www.decos.co.jp>

- 事業内容 : 建築用断熱材セルローズファイバー製造販売・施工代理店制度 FC 本部
- 代表取締役 : 安成信次
- 本社 : 〒751-0851 山口県下関市熊野西町 6-13
- 山口工場 : 〒750-0313 山口県下関市菊川町田部 155-7
- 関東工場 : 〒357-0069 埼玉県飯能市茜台 3-2-10
- 東京 OFFICE : 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 3-3-8 日本橋優和ビル 8F

●お問合せ先

株式会社 デコス 断熱事業部 東京OFFICE

担当 田所憲一

TEL : 03-3516-8056

FAX : 03-3272-2753

Mobile : 080-6408-4266

E-mail : k-tadokoro@decos.co.jp